

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 1学期

かかりをつくろう		(1時間)	
ねらい	自分から進んで仕事に取り組むよさを基に、学級に適した係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で仕事を分担、協力して取り組む楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級に適した係についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に適した係について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に適した係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、1年生のときの学級の係を掲示する。	
本時	○1年生の係でよかったところや改善していくところを発表し合い、自分から進んで係活動に取り組むよさを知る。 ○学級に適した係について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく係を決め、係ごとに相談して計画を立てる。	○話し合いへの意欲を高められるように、2年生としてより自分から進んで係活動をすることが大切であることについて助言する。 ○係活動にふさわしい係を考えられるように、当番活動との違いについて助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級のためになる係を提案したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○決まった係の仕事に、日常生活の中で取り組む。	○実践の充実感を味わえるように、帰りの会等で、それぞれの係の取組を紹介する。	
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。 ・「なかよしたい」(計画委員)の活動は学級の実態に合わせ、時期を見て行っていく。それまでは教師が主導して行い、学級会や話し合いの進め方等を子どもたちが理解できるようにするとよい。			

学きゅう目ひょうに近づこう		(1時間)	
ねらい	学級目標を達成することのよさを基に、学級で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な行動目標を集団決定するとともに、協力して取り組むことによって、よりよい学級づくりに取り組む楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級目標を達成するために学級で取り組んでいくことについての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級目標を達成するために学級で取り組んでいくことについて話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級目標を達成するために学級で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、学級目標を提示する。	
本時	○学級目標を達成することのよさを知る。 ○学級目標のような学級にするために取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級目標を達成することのよさについて助言する。 ○具体的に取り組んでいくことを考えられるように、具体的な学校生活の場面を基に学級目標を達成している姿を考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級目標に合っていることや、みんなができること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決まったことを基に、よりよい学級づくりに取り組む。	○実践の充実感を味わえるように、決定した行動目標の達成具合を可視化して掲示する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 1学期

かかりのがんばりを見つけよう		(1時間)	
ねらい	係活動で頑張れたことを基に、より学級のためになる係活動について根拠を明らかにして話し合い、これからの係活動で取り組んでいくことを集団決定するとともに、全員で仕事を分担し、協力して、取り組めたことへの充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技)より学級のためになる係活動についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表)より学級のためになる係活動について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、より学級のためになる係活動について話し合ったり決めた係の仕事を行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、係の取組具合についてのアンケートを行い、その結果を掲示する。	
本時	○これまでの係活動の頑張りを発表し合い、より学級のためになる係活動をすることのよさを知る。 ○これまでの頑張りを基に、より学級のためになる係活動について、根拠を明らかにして話し合う。 ○各係ごとにこれから取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級の役に立つ活動に取り組んでいる係を紹介する。 ○頑張った経験を基に具体的に考えられるように、活動に積極的に取り組んでいる子どもを意図的に指名するよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇みんなの役に立つことや、これからも続けていけること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり、記述したりしている。 <発言・学習プリント>
事後	○これからの係の仕事にしっかり取り組む。	○実践の充実感を味わえるように、帰りの会等で、各係の取組を紹介する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 1学期

1 学きのおたのしみ会をしよう		(2時間)	
ねらい	学級全員で遊ぶよさを基に、お楽しみ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、みんなが仲よくなれるお楽しみ会の内容を集団決定するとともに、協力して集会活動を行うことによって、学級全員で遊ぶ楽しさを味わう。		
評価 規準	(①知・技) お楽しみ会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) お楽しみ会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、お楽しみ会の内容について話し合ったり、参会したりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、計画委員の提案の理由を掲示する。	
第1時	○お楽しみ会をすることのよさを知る。 ○お楽しみ会の内容について、みんなが仲よくなれる根拠を明らかにして話し合う。 ○お楽しみ会の内容を集団決定する。	○話し合いへの意欲を高められるように、お楽しみ会をすることのよさについて助言する。 ○具体的に内容を考えられるように、1年生で行った集会の様子を想起するよう助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、集会に向けて励ましたりする。	◇みんなが仲よくなること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく集会をする。 ○楽しかったことを発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、仲よく、楽しく参会できていることを称賛したり、これからの生活に向けて励ましたりする。	◇計画を基に、お楽しみ会を楽しんでいる。 <行動③>
事後	○みんなが活動する楽しさを基に、積極的に友達と関わって生活する。	○実践の充実感を味わえるように、お楽しみ会の様子や休み時間に友達と関わって過ごす姿を写真に収め、教室内等に掲示する。	
【備考】			

学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 2年 1学期

あぶないあそびをなくそう		4月(1時間)	
ねらい	安全に遊ぶことの大切さを基に、安全に遊ぶための方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った遊び方を決定するとともに、一人一人が実行し、安全な生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 安全に遊ぶことの大切さを理解し、安全に遊ぶための方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 安全に遊ぶための方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、安全に遊ぶための方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、学級で起こったけがの種類や場所、原因を示した資料を提示する。	
本時	○事故やけがを招くような遊び方や行動を発表し合い、安全に遊ぶことの大切さを知る。 ○安全に遊ぶための方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○安全に遊ぶための方法について、自分で取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、休み時間や放課後に遊んでいる様子を録画したVTR資料を提示する。 ○よりよい方法について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇誰もが安全に遊べる、自分に合っている等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○自分で決めた安全に遊ぶための方法に取り組む。	○実践への意欲を継続できるように、月毎に保健室の来室者数を伝える。	
【備考】	・石山は大きなけがにつながる可能性が高いため、早い段階で実施する。 ・安全週間と関連付け、附属小の安全の合言葉「は・ひ・ふ」を再確認する。		

もち物をせいりしよう		5月(1時間)	
ねらい	自分の持ち物を整理しておくことのよさを基に、机の中やロッカーの中に持ち物を整理しておく方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 自分の持ち物を整理しておくことのよさを理解し、持ち物を整理しておく方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 持ち物を整理しておく方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、持ち物を整理しておく方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、日常的に机やロッカーの中の整理・整頓を行う時間を設定する。	
本時	○調査した机やロッカーの使い方を発表し合い、自分の持ち物を整理しておくことのよさを知る。 ○机やロッカーの中に持ち物を整理しておく方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分がこれから取り組んでいきたい方法を決める。	○問題意識を高められるように、自分の机の中と友だちの机の中を比較するよう促す。 ○よりよい方法について具体的に話し合えるように、ロッカーのモデルを使用した模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇続けることができる、いつでもできる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○毎日の生活の中で、机やロッカーの中を整理して使う。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で、実践状況を振り返る時間を設定する。	
【備考】	・ロッカーのモデルは道徳・特活準備室に保管してある。 ・公開研究会前の荷物整理と関連付け、本時では模擬活動より、実際に整理整頓活動を行えるとよい。		

学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 2年 1学期

なかまはずれをしない		5月(1時間)	
ねらい	仲間外れのない友達関係のよさを基に、互いに仲間外れをしないで生活する方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 仲間はずれのない友達関係のよさを理解し、仲間はずれをしないで生活する方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 仲間はずれをしないで生活する方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、仲間はずれをしないで生活する方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、仲間外れについてのアンケートを行う。	
本時	○登下校や遊びの具体的な場面で、仲間外れが起きてしまう場面を発表し合い、仲間外れのない友達関係のよさを知る。 ○互いに仲間外れをしないで生活する方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○互いに仲間外れをしないで生活する方法について、取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、アンケートの結果を提示する。 ○よりよい方法について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲をもてるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇相手の立場や気持ちを考えること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○仲間外れが起きない方法を生活の中で取り組む。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で実践の成果や課題を話し合う時間を設定する。	
【備考】			

雨の日の交通安全		6月(1時間)	
ねらい	雨の日の登下校では危険が増すことを知り、雨の日の安全な登下校の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、安全な生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 雨の日の登下校では危険が増すことを知り、雨の日の安全な登下校の仕方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 雨の日の安全な登下校の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、雨の日の安全な登下校の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、雨の日の登下校の危険性についてのクイズを掲示する。	
本時	○雨の日の登下校の仕方を発表し合い、雨の日の登下校の危険性について知る。 ○雨の日の安全な登下校の仕方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○雨の日に安全な登下校をするために、自分に取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、実際に傘を差して登下校する様子の模擬活動を行うよう促す ○よりよい登下校の仕方について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分の取組を決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇雨の日の安全な登下校の仕方について、自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決めたことを登下校時に実行する。	○実践への意欲を継続できるように、雨の日やその翌日等に、自らの取組を振り返る時間を設定する。	
【備考】 ・交通安全教室として位置付け、5月に実施してもよい。			

ぬいだふくはきれいに		6月(1時間)	
ねらい	ぬいだ衣服をきれいにたたんでおくことのよさを基に、衣服の上手なたたみ方やしまい方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、身の回りを整えて生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) ぬいだ衣服をきれいにたたんでおくことのよさを理解し、衣服の上手なたたみ方やしまい方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 衣服の上手なたたみ方やしまい方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、衣服の上手なたたみ方やしまい方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、衣服の紛失等のトラブルについてのアンケートを行い、結果を掲示する。	
本時	○日常生活での体育着や給食着等のたたみ方やしまい方について発表し合い、脱いだ服をきれいにたたんでおくことのよさを知る。 ○衣服の上手なたたみ方やしまい方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいきたいことを決める。	○問題意識を高められるように、体育のとき等の教室の様子をVTRや写真で提示する。 ○よりよいたたみ方やしまい方について具体的に考えられるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分の取組を決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇衣服の上手なたたみ方やしまい方について、自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○毎日の生活の中で、決めたことを実行する。	○実践への意欲を継続できるように、体育の後などに、実践の成果や課題を振り返る時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 1学期

2年生になって		4月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させることのよさを基に、2年生になって頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 自分の生活を向上させることのよさを理解し、2年生になって頑張っていきたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 2年生になって頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2年生になって頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、2年生の生活への期待や不安に関するアンケートを行う。	
本時	○1年生と2年生の違いを発表し合い、2年生にふさわしい態度で生活していくことの大切さに気付く。 ○2年生で頑張っていきたいことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくめあてを決め、カードに書く。	○問題意識を高められるように、2年生と1年生の違いについて学習面や生活面、行事等の面から助言する。 ○具体的に頑張っていきたいことを考えられるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、2年生と1年生との違いを話す3年生を録画したVTR資料を提示する。	◇2年生になって頑張りたいことを発言したり記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、月ごとに「学校生活の振り返り」を行う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードと、「学校生活の振り返り」のプリントを準備する。			

1学期をふりかえろう		7月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、1学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 1学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、1学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○1学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○1学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	◇1学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 1学期

夏休みのめあてをきめよう		7月(1時間)	
ねらい	めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さを基に、夏休みのめあてについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい夏休みを送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さを理解し、夏休みのめあてについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)夏休みのめあてについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、夏休みのめあてについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように1年生の夏休みの過ごし方のよかった点と課題についてのアンケートを行う。	
本時	○1年生の夏休みを振り返り、よくできたことやできなかったことを発表し合い、めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さを知る。 ○夏休みのめあてについて、学習面と生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の夏休み」に書く。	○問題意識を高められるように、めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さについて助言する。 ○夏休みにふさわしいめあてを考えられるように、夏休みだからこぞできること等について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分のめあてを決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇進んで夏休みのめあてを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の夏休み①②③>
事後	○計画に基づいて夏休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、「○○の夏休み」に夏休み全体の振り返りを記述する欄を設ける。	
【備考】	・「○○の夏休み」を準備する。 ・夏休みの宿題を配付する。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 2学期

かかりをこうたいしよう		9月(1時間)	
ねらい	学級の係活動を見直していくことのよさを基に、学級に適した係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で仕事を分担し、協力して取り組む楽しさを味わう。		
評価 規準	(①知・技) 学級に適した係についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に適した係について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に適した係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、1学期の係を提示する。	
本時	○2学期にどのような係をつくったらよいか、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく係を決め、係ごとに相談して計画を立てる。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級のためになる係を発言したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○決まった係の仕事に、日常生活の中で取り組む。	○実践の充実感を味わえるように、帰りの会等で、それぞれの係の取組を紹介する。	
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。			

学びゅう活動のけいかくをつくろう		9月(1時間)	
ねらい	計画委員会を中心に学級の課題を解決していくことのよさを知り、計画委員会ごとに担当する議題について根拠を明らかにして話し合い、それぞれの計画委員会が担当する題材を集団決定するとともに、協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくしていく充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) 計画委員会ごとに担当する議題についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 計画委員会ごとに担当する議題について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、計画委員会ごとに担当する議題について話し合ったり学級活動を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、1学期の議題の一覧を提示する。	
本時	○計画委員会ごとに担当する議題について、根拠を明らかにして話し合う。 ○話し合ったことを基に、計画委員会ごとにめあてや役割を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級がよりよくなる」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○活動計画書をつくり、それぞれの班の進行で学級活動を行う。	○実践の充実感を味わえるように、各自が担当した議題について、グループで成果と課題を話し合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 2学期

運動会をがんばろう		9月(1時間)	
ねらい	クラス全員で運動会に取り組むことのよさを基に、参加する態度や応援する態度について根拠を明らかにして話し合い、運動会で頑張ることを集団決定するとともに、団結して取り組むことによって、目標に向かって全員で頑張ることの充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 運動会に参加する態度や応援する態度についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 運動会に参加する態度や応援する態度について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、運動会に参加する態度や応援する態度について話し合ったり運動会に参加したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、昨年度の2年生の運動会で競技している写真や応援している写真を掲示する。	
本時	○参加する態度や応援する態度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○話し合ったことを基に、運動会で頑張ることを決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「全員で協力できる」「楽しく充実した運動会にできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり運動会に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決めたことを基に、運動会の練習や運動会に積極的に参加する。	○実践の充実感を味わえるように、帰りの会などの中で自分の取組を振り返る時間を設定する。	
【備考】 ・全体練習や応援練習、学年練習との関連を図り、適切な時期に行えるようにする。			

教生の先生とのおわかれ会をしよう		10月(2時間)	
ねらい	実習生に感謝の気持ちを伝えるよさを基に、実習生とのお別れ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、協力して集会を行うことによって、実習生に感謝の気持ちを伝える集会の楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 実習生とのお別れ会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 実習生とのお別れ会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、実習生とのお別れ会の内容について話し合ったりお別れ会に参加したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、どんなお別れにしたいかのアンケートを行い、その結果を掲示する。	
第1時	○お別れ会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○お別れ会の内容を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「みんなですると楽しい」「感謝の気持ちが伝わる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したりお別れ会に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく集会を行う。 ○楽しくお別れ会ができたことを振り返り、感想を発表し合う。	○積極的に集会に参加できるように、集会のめあてやルールを確認するよう促す。 ○日常生活に生かせるように、仲よく、気持ちを込めて集会ができていることを称賛する。	◇計画に基づいて、お別れ会を楽しく行っている。 <行動③>
事後	○感謝の気持ちを伝えるよさを、日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を味わえるように、教生の先生の感想を掲示する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 2学期

「ともにわかる」クラスにしよう		10月(1時間)	
ねらい	「共に分かる」クラスにすることで互いに高め合うことができるよさを基に、分かり合うクラスにするための方法について根拠を明らかにして話し合い、みんなで実行していくことを集団決定するとともに、学級全体で協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 「共に分かる」クラスにするための方法についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 「共に分かる」クラスにするための方法について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、「共に分かる」クラスにするための方法について話し合ったり決めたことを守って学習に取り組んだりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、各自の「共にわかるプロジェクト」の振り返りの結果を集約して掲示する。	
本時	○授業での態度でよくなったところと直していきたいところを発表し合い、望ましい学習の仕方を身に付けることよさを知る。 ○みんなが気持ちよく学習できるようにするための約束や態度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく約束や態度を決める。	○問題意識を高められるように、「共にわかるプロジェクト」の意味について話をする。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「みんなが気持ちよく学習できる」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○自分が決めた約束や態度を守って毎日の学習に取り組む。	○今後の生活の仕方を意識できるように、月ごとに「共に分かるプロジェクト」の振り返りを行う時間を設定する。	
【備考】 ・「ともにわかろう」の振り返りシートを活用するとよい。			

ミニオリンピック大会をしよう		11月(2時間)	
ねらい	学級全員が楽しめる集会をするよさを基に、ミニオリンピック大会の種目や内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、協力して集会を行うことによって、クラス全員で活動する楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) ミニオリンピック大会の種目や内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) ミニオリンピック大会の種目や内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、ミニオリンピック大会の種目や内容について話し合ったりミニオリンピック大会に参加したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、前年度の2年生の集会の写真を掲示する。	
第1時	○ミニオリンピック大会の種目や内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○大会の種目や内容を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「1人ずつ行う」「誰が1位になるかわからない」「記録がくらべられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり大会に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく集会活動を行う。 ○楽しかったことを発表し合う。	○積極的に集会に参加できるように、大会のめあてやルールについて確認するよう促す。 ○日常生活に生かせるように、みんなが楽しい集会ができていることを称賛する。	◇計画をしたことを基に、ミニオリンピック大会を楽しく行っている。 <行動③>
事後	○みんなで活動する楽しさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を味わえるように、集会の感想を通信等に掲載する。	
【備考】 ・種目としては、紙飛行機飛ばしや障害物競走等が考えられる。 ・お楽しみ集会として行ってもよい。			

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 2年 2学期

目を大切にしよう (養護教諭とのTT)		10月 (1時間)	
ねらい	生活の仕方です視力が落ちてしまうことを知り、目を大切に生活する方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、目を大切に健康な生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 生活の仕方です視力が落ちてしまうことを知り、目を大切に生活する方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 目を大切に生活する方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、目を大切に生活する方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、「目の愛護デー」の紹介をする。	
本時	○視力が落ちる原因について養護教諭の話聞き、生活の仕方です視力が落ちてしまうことを知る。 ○目を大切に生活する工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく方法を決める。	○問題意識を高められるように、学年が進むとともに視力が落ちる子の割合が増えていることが分かる資料を提示する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「目を大切にできる」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇目を大切に生活するための方法を発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○目を大切に生活を実行する。	○実践への意欲を継続できるように、自分が決めたことに取り組んでいる子どもを称賛する。	
【備考】 ・出された工夫について、実際に試す場があるとよい。			

わすれものをなくそう		11月 (1時間)	
ねらい	忘れ物のない生活を送ることのよさを知り、忘れ物をなくすための方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫を決定するとともに、一人一人が実行し、忘れ物をせずに気持ちよい生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 忘れ物のない生活を送ることのよさを知り、忘れ物をなくすための方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 忘れ物をなくすための方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、忘れ物をなくすための方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、宿題等の忘れ物チェックの結果を掲示する。	
本時	○忘れ物をして困ることを発表し合い、忘れ物のない生活を送ることのよさを知る。 ○忘れ物をなくすための工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分がこれから工夫していくことを決める。	○問題意識を高められるように、忘れ物のない生活のよさについて忘れ物が少ない子どもにインタビューをする。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「忘れ物が減る」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの工夫が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇みんなができる、自分に合っている等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○忘れ物をしない工夫をして生活していく。	○実践への意欲を継続できるように、自分が決めたことに取り組んでいる子どもを称賛する。	
【備考】			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 2学期

2学期のめあてをつくろう		9月(1時間)
ねらい	めあてをもって2学期を過ごすことよさを知り、2学期に頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識した生活を送る。	
評価規準	(①知・技)めあてをもって2学期を過ごすことよさを知り、2学期に頑張っていきたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)2学期に頑張っていきたいことについて課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、2学期に頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、1学期の学習や生活の成果と課題を掲示する。
第1時	○1学期や夏休みに頑張ったことを発表し合い、めあてをもって過ごすことよさを知る。 ○2学期に頑張っていきたいことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくめあてを決め、カードに書く。	○問題意識を高められるように、1学期や夏休みのめあてに向かっている子どもを紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「2学期の学習や生活に合っている」「自分が成長できる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分のめあてが決められた子どもを称賛したり励ましたりする。
事後	○自分のめあてに基づいて生活する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、月ごとに「学校生活の振り返り」を行う時間を設定する。
【備考】	・めあてを書くカードと、「学校生活の振り返り」のプリントを準備する。	

じょうずなそうじ		10月(1時間)
ねらい	上手に清掃活動を行うことの大切さを知り、よりきれいになる清掃の方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った取組を決定するとともに、一人一人が実行し、今まで以上に掃除が上手にできるようになったことを実感する。	
評価規準	(①知・技)上手に清掃活動を行うことの大切さを知り、よりきれいになる清掃の方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)よりきれいになる清掃の方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、よりきれいになる清掃の方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、清掃の仕方についてのアンケートを行う。
本時	○普段の清掃の写真から、上手に清掃活動を行うことの大切さを知る。 ○より上手に清掃する方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく方法を決める。	○問題意識を高められるように、写真を見て気付いた清掃の様子について発表するよう促す。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「よりきれいになる」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の取り組む方法が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。
事後	○毎日の清掃活動の中で決めたことを実行する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、掃除の反省会の中で自分の取組状況を振り返る時間を設定する。
【備考】	・普段の清掃の様子を撮影しておく。 ・実習単元	

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 2学期

2学期をふりかえろう		12月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、2学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 2学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○2学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○2学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

冬休みのめあてをきめよう		12月(1時間)	
ねらい	めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい冬休みを送る。		
評価規準	(①知・技) めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 冬休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、冬休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、2学期のめあてカードや学校生活の振り返りシートを用意する。	
本時	○2学期のめあてを基に、よくできたことやできなかつたことを発表し合い、めあてをもって冬休みを過ごすことのよさを知る。 ○冬休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の冬休み」に記入する。	○問題意識を高められるように、めあてをもって冬休みを過ごすことの大切さについて助言する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「3学期の準備ができる」「冬休みに合っている」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分のめあてを決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	
事後	○計画に基づいて冬休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、「○○の冬休み」に冬休み全体の振り返りを記述する欄を設ける。	
【備考】 ・「○○の冬休み」の紙を用意しておく。 ・冬休みの宿題を配付する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 3学期

かかりをこうたいしよう		1月(1時間)	
ねらい	学級の係活動を見直していくことのよさを基に、3学期につくる係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で仕事を分担、協力して取り組む楽しさを味わう。		
評価 規準	(①知・技) 3学期につくる係についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 3学期につくる係について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期につくる係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、2学期の係を提示する。	
本時	○3学期にどのような係をつくったらよいか、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいく係を決め、活動の計画を立てる。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、これからの取組を励ましたりする。	◇学級のためになる係を発言したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○活動計画に従い、係活動に取り組む。	○実践の充実感を味わえるように、帰りの会等で、それぞれの係の取組を紹介する。	
【備考】 ・係のメンバーや仕事内容を書いたポスターを作り、掲示する。			

おわかれ集会をしよう		3月(2時間)	
ねらい	学級の友達全員で学級の思い出を振り返る楽しさを基に、お別れ集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、協力して集会を行うことによって、2年間同じ学級で生活してきたことへの充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) お別れ集会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) お別れ集会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、お別れ集会の内容について話し合ったりお別れ集会に参加したりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題についての問題意識をもてるように、2年間の思い出の写真を掲示する。	
第1時	○お別れ集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「みんなでできる」「全員が楽しめる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、本番に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく集会活動を行う。 ○楽しかったことを発表し合い、集会をまとめる。	○集会に積極的に参加できるように、第1時で決まったことやルール等についての確認をする。 ○日常生活に生かそうという意欲を高められるように、一人一人の頑張りや全員が成長したことを称賛する。	◇計画に基づいてお別れ集会を楽しく行っている。 <行動③>
事後	○2年生の残りの期間を大切に生活していく。	○実践の充実感を味わえるように、集会の感想を通信等で掲載する。	
【備考】			

学級活動 (2) 学級や学校における生活づくりへの参画 2年 3学期

自分に合ったハミガキのしかたを考えよう(養護教諭とのTT)		2月(1時間)
ねらい	3度の食事の大切さを知り、間食の量や時間について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫を決定するとともに、一人一人が実行し、食事をしっかりと摂って健康な生活を送る。	
評価 規準	(①知・技) 3度の食事の大切さを知り、間食の量や時間について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 間食の量や時間についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、間食の量や時間について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、自分の間食状況について確認する時間を設定する。
本時	○3度の食事と間食の栄養のバランスを振り返り、3度の食事の大切さについての話を聞く。 ○3度の食事がしっかりと摂れるような間食の量や時間について、根拠を明らかにして話し合う。 ○間食の量や時間について、自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、食事の回数の意味や間食の必要性について栄養士から話をしてもらう。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「誰でもできる」「毎日続けられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分が取り組むことを考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。
事後	○間食の仕方の工夫を実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、自分が決めたことに取り組んでいる子どもを称賛する。
【備考】 ・学校栄養士と連絡を取り合って指導を進める。授業もTTで行う。R07は染め出しチェックを行った。		

◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。
 <発言・学習プリント①②③>

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 3学期

3学期のめあてをつくろう		1月(1時間)	
ねらい	めあてをもって3学期を過ごすことよさを知り、3学期にがんばっていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識した生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって3学期を過ごすことよさを知り、3学期にがんばっていきたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)3学期にがんばっていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期にがんばっていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、2学期の学習や生活の成果と課題を掲示する。	
本時	○2学期や冬休みにがんばったことを発表し合 い、3年生に向けてめあてをもって過ごすこ とのよさを知る。 ○3学期のめあてについて、根拠を明らかにし て話し合う。 ○自分が取り組んでいくめあてを決め、カード に書く。	○問題意識を高められるように、3年生への準備ができてい るか ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「3学期の学習や 生活に合っている」「自分を高められる」等の話し合いの視 点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えら れた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分のめあてを発言したり、記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活していく。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、月ごとに「学校生活の振り返り」を行う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードと、「学校生活の振り返り」のプリントを準備する。			

3学期をふりかえろう		3月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技)自分の生活を向上させてきたことよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、3学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表)3学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○3学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつな がった具体的なよい姿を提示する。 ○3学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生 活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれか らの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ま したりする。	◇3学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 2年 3学期

春休みのけいかくをつくろう		3月(1時間)
ねらい	めあてをもって春休みを過ごすことのよさを知り、春休みになんがやりたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい春休みを送る。	
評価 規準	(①知・技)めあてをもって春休みを過ごすことのよさを知り、春休みになんがやりたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)春休みになんがやりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、春休みになんがやりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、2年生のまとめの姿についてのアンケートを行う。
本時	○1年間に自分が成長できたことを発表し合い、春休みをめあてをもって過ごすことのよさを知る。 ○春休みのめあてについて、学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の春休み」に書く。	○問題意識を高められるように、めあての大切さを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「3年生への準備になる」「自分を高められる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。
事後	○計画に基づいて春休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるよう、「○○の春休み」に春休み全体の振り返りを記述する欄を設ける。
【備考】	・「○○の春休み」を準備しておく。	

◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして春休みのめあてについて発言したり、記述したりしている。
 <発言・○○の春休み①②③>